

北九州メディアドーム未利用エリアの活用に関するサウンディング調査

結果概要

北九州メディアドーム未利用エリアの活用に関するサウンディング調査の結果をとりまとめましたので、概要を公表いたします。

1 募集の経緯

北九州メディアドームは平成10年にオープンし、競輪事業のほか大規模イベントなどに活用されてきました。しかし、竣工後20年以上経過したこともあり、当初計画していた目的を十分に果たせていないエリアもあり課題となっているところです。そこで、今後、未利用エリアの活用事業を計画するのに先立ち、本事業に関心のある民間事業者のみなさまに活用事業のアイデアのほか、参入意向やその課題、並びに整備及び運営などの様々なご意見をうかがうサウンディング調査を実施しました。

2 サウンディング調査結果

- (1) 実施期間 令和4年12月から令和5年3月
- (2) 事前説明会参加事業者 14社
- (3) アンケート提出事業者 4社
- (4) 主な内容

【意見】

- ・施設内における競輪来場者と一般来場者を明確に切り分けた方がよい。
- ・公共交通機関でのアクセスが難しく、施設内も回遊しにくい。
- ・全天候型施設、所有駐車場を活かした事業計画が望ましい。
- ・競輪事業による制約が、事業を計画するうえで支障となる。

【事業案】

- ・会議室を利用したカルチャースクール、ドローン教室
- ・eスポーツのレンタルスタジオ
- ・セキュリティを必要とするIT企業・研究機関向け有料施設
- ・エアースト遊具を用いたアトラクション施設
- ・未利用エリアを活用した水耕栽培施設

3 今後の対応

今回いただいたご意見・アイデアを精査し、さらなる検討を行います。